

「生体維持機能の破綻による前がん病変から浸潤がんへの

移行を制御する分子機序の解明」に関する研究への

ご協力のお願い

- 乳がんにおける新規治療方法を目指した研究 -

1. 研究の対象

2019年4月1日以降の研究許可日から、2021年3月31日まで、国立がん研究センター中央病院において診療目的で採取された組織を対象とする。包括的同意が得られた患者由来の試料を対象とし、採取された組織の診療余剰分を使用する。

2. 研究目的・方法

本研究は、乳がんの新規の培養技術の構築、および新規治療方法の開発を目指します。研究実施期間は許可日より2024年3月31日まで、本研究は、当院で実際に診断に使った後に余剰となった腫瘍組織を用います。これらの腫瘍から細胞を取り出して解析モデルを構築すること、さらに単一細胞レベルでの遺伝子の発現を詳細に検討することによって正確な検査や治療の標的を見つけます。

研究終了後、研究結果の公表は研究責任者あるいは研究担当者がしかるべき論文発表や学会発表ならびにデータを公的データベースへ登録し、国際的にその成果は共有されます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：腫瘍組織および

情報：年齢、性別、生存期間、治療内容などの臨床情報、臨床病期分類、組織型などの病理診断結果学的情報

4. 外部への試料・情報の提供

提供された試料は遺伝子発現解析用に調整後、東京大学大学院新領域創成科学研究科に郵送され、データ解析されます。解析データは、東京大学大学院新領域創成科学研究科ならびに国立がん研究センター研究所細胞情報学で実施されます。研究成果については専門学会への発表、論文化を通し公表されます。研究により得られたデータを公的データベースへ登録し、登録されたデータは国際的に共有される可能性があります(NCBIのGEO (Gene Expression Omnibus) を予定しています)。

5. 研究組織

国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット 山本雄介
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 鈴木 穰

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
東京都中央区築地 5-1-1, 03-3542-2511 (内線 3664)
国立がん研究センター 研究
所 細胞情報学研究分野 都倉 桃子

研究代表者：
国立がん研究センター 中央病院 国際開発部門トランスレーショナルリサーチ推進室/研究所 病態情報学ユニット 都倉 桃子

研究担当者：
国立がん研究センター 研究所 病態情報学ユニット 中山 淳
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 鈴木 穰

研究責任者：
国立がん研究センター 研究所 病態情報学ユニット 山本 雄介

2023年1月11日 Ver. 1.9